

市長が行く

No.19



茂原市長 田中豊彦

医療再生基金はどこへ？

今回はこの地域の医療問題について述べてみたいと思います。

昨年5月より、長生郡市の夜間救急において、ひと月に14、15日あった空白日が解消されました。これは医療過疎と呼ばれているこの地域の医療関係者の最大の協力なくしては出来なかつたことと思っております。また昨年の後半から今年にかけて、桐谷院長のもと長生病院は大きく改革され、黒字化に向けて少しずつ進んでいっているところですよ。

ただ、この地域の医療現場は、まだまだ多くの課題を抱えております。医師や看護師の数の不足はもちろんのこと、三次救急の問題(重篤の患者に対応する病院がない)、産科小児科の不足など、早急に改善されるべき問題が山積しています。

今回、千葉県地域医療再生基金として「山武長生夷隅医療圏」に国から25億円が割り当てられました。私はこれで少しは長生郡市の医療問題を解決することが出来るものと期待していました。ところが、先日この件に関して、千葉県地域医療

再生本部の初会合が千葉市で開かれたのですが、県当局はこの基金の使い方を、すでに決めているようで、東金市と九十九里町で進めている仮称「九十九里医療センター」に一部を充当し、残りの大半は県全域に使うようなのです。私は納得がいかず、山武だけでなく長生夷隅地域でもこの基金を使えるように配慮して欲しい旨、申し述べました。

そもそもこの会合ですが、長生夷隅地区からは、一人の医師の参加も許されていません。これはどう考えても不平等だと思われるのですが・・・。これはこの地域の医療現場を正しく伝える機会がないということとです。私にはどうも会議自体がすでに決められたことの形だけの承認をするために開かれているようにも感じられ、本来の意味での再生会議とは言えないと、とても不満でした。

しかし、これからも負けずに、長生郡市の医療再生のために、少しでも基金を回してもらえよう働きかけていきたいと思えます。石にかじりついてでも！